

令和7年度 獨協医科大学大学院医学研究科入学者選抜試験
専攻科目試験 産科婦人科学

・意図

[設問1]

基礎的な英語読解力および科学的文章の理解力を評価することを目的としている。医学博士を志す者として、国際的な学術論文の読解や研究成果の英文発表が不可欠であるため、受験生が英文科学論文の要旨や研究報告を正確に理解できる能力を有しているかを確認する。

[設問2]

論じられている内容を適切かつ簡潔にまとめる能力を確認する。

・解答

[設問1]

borderline ovarian tumor (BOT) に対して妊孕性温存手術 (fertility-sparing surgery : FSS) を行った後に卵巣再発を来した患者を対象としている。

[設問2]

本論文では、BOT 再発時に手術前の卵子凍結を行うことについて、以下の問題点が指摘されている。

1. 安全性の問題：

画像検査（経膈超音波など）では再発巣が非浸潤性であることを完全には否定できず、卵巣刺激や卵子採取により腫瘍細胞播種や病期進行のリスクがある。

2. 実行可能性の問題：

再発腫瘍の局在や大きさ、健常卵巣実質の残存量、癒着の有無によっては卵子採取が技術的に困難または不可能な症例がある。

3. 必要性の問題：

すべての症例で妊孕性温存が必要とは限らず、年齢や卵巣予備能、将来の妊娠希望を考慮した症例ごとの慎重な適応判断が必要である。